

宗山寺報  
浄取念佛寺

# 撮取

第 15 号

## 「ご寄付」感謝

御芳名

- 上田雄喜 伍萬円
- 山田耕平・素道 参萬円
- 大澤泰治 壹萬円
- 藤井 篤 壹萬円
- 西田真二 伍阡円
- 磯田昌貴 参阡円
- 守岡 彬 参阡円
- 深井義明 参阡円
- 守岡源吾 参阡円
- 荒川太郎 貳阡円
- 佐藤貞女 貳阡円
- 西田美枝子 貳阡円
- 新家文市 貳阡円
- 深井弘二 貳阡円
- 塚原忠吉 貳阡円
- 佐藤真吾 貳阡円
- 横山定子 貳阡円

以上の方からお盆に寺の本堂に入るのに大勢の時、靴の置き場に苦労されて

いるのを見て下足入れ、そして



最近、座りこくとこつとこつと聞くにつけ椅子をもう少し増やしたい。「ご寄付の総額を考えて、下足入れ、

## 言葉

椅子を注文します。

ただ往生極楽のために

は、南無阿弥陀仏と申して、

疑いなく往生するぞと

思い取りて申す外には別の仔細候わず

法然上人が亡くなる直前にしたためられた「一枚起請文」に説かれた言葉です。御彼岸は亡き方の「ご供養を」と共に、今生きる私たちが迷いの此岸（娑婆世界）を離れ、彼岸（悟



る期間でもあります。南無阿弥陀仏を唱えれば必ず阿弥陀様のお迎えをいただける。そう信じ

てひたすらお念仏をお唱えする。その他に極楽に生まれるための道はないのですよ、と説かれています。

## Q&A

Q・おはぎってばたもち？

御彼岸と言えはおはぎ。よく「おはぎと牡丹餅は違つの」と尋ねられますが、一般的には春にあげるのを春に咲くボタンと似ているからばた餅。秋に上げるのを秋の花のようだから「おはぎ」というようです。でも名前の相違の理由はいろいろあるのかもしれませんが、でもどちらにしてもおいしいですよ。

## 《編集後記》

今回は、寺の境内で今咲いているサツキとホソバナアキノノゲシ？の写真です。このサツキはこの時期が好きなのでしょう。昨年もこの秋のお彼岸の時期に咲いていました。